



紀宝町

議会だより

平成22年9月1日発行（第17号）



議 会 日 誌

平成22年 4月～6月

- | | |
|---|------------------------------|
| 4月14日 紀宝バイパス対策特別委員会 | 27日 国道169号線改良促進連絡協議会総会(熊野市) |
| 20日 三重県町村議会議長会理事会(津市) | 熊野尾鷲道路建設促進期成同盟会総会(熊野市) |
| 5月 7日 議会中継調査特別委員会 | 28日 教育民生常任委員会 |
| 10日 紀宝地区交通安全協会代議員総会(紀宝町) | 熊野川流域対策連合会理事会・総会(新宮市) |
| 11日 自治体議員研修会〔第1回〕(津市) | 31日 全員協議会 |
| 12日 紀宝バイパス建設促進等要望活動(紀勢国道事務所・中部地方整備局・国土交通省)〔13日まで〕 | 6月 2日 三重県町村議会議長会理事会(津市) |
| 14日 議会運営委員会 | 3日 熊野川河口大橋建設促進議員連盟理事会(新宮市) |
| 18日 紀南環境衛生施設事務組合議会先進地行政視察(十津川村) | 7日 災害・環境保全対策特別委員会 |
| 21日 自治創造塾(津市) | 8日 議会運営委員会 |
| 24日 南三重活性化協議会通常総会(松阪市) | 9日 産業建設常任委員会、熊野川流域対策特別委員会 |
| 熊野川河口に橋を架ける会理事会・総会(新宮市) | 15日 第2回定例会・第1日目、議会運営委員会 |
| 25日 熊野川河口大橋建設促進議員連盟理事会・総会(新宮市) | 16日 第2回定例会・第2日目 |
| | 17日 第2回定例会・第3日目、議会運営委員会 |
| | 21日 熊野川河口に橋を架ける会正副会長会議(新宮市) |
| | 30日 南牟婁郡交通安全対策協議会総会・委員会(御浜町) |

6月定例会 一般質問

(要約)

平成22年第2回紀宝町議会定例会は6月15日に開会しました。

第1日目は、初めに、議長報告と各委員会委員長報告があり、続いて、町長から、第1回定例会以降の町行政各般にわたる報告がありました。その後、一般質問が行われ、第2日目の16日にわたり、8人の議員が質問に立ち、直面している諸課題について、当局の取り組みと考え方を質し、活発な議論が交わされました。

第3日目の17日に災害・環境保全対策特別委員会の名称を変更した後、議案審議に入り、専決処分案件2件を承認し、条例の一部改正案件4件、平成22年度一般会計補正予算案件、国民健康保険特別会計補正予算案件、並びに水道事業特別会計補正予算案件をそれぞれ可決し、閉会しました。

特別参与

がんの原因は、はっきり言うてまだ分からないというのが実情かと思えます。その後、研究が進みまして「がんは遺伝子の損傷に基づく病気だ」ということが分かっています。つまり、発がんの要因は食事、喫煙、運動、飲酒など生活習慣で6割以上で、3分の2は生活習慣を改めると予防できると言われております。一般的にがんの原因のおよそ3分の1は喫煙と考えてもまず間違いないだろうと思っております。町民の皆さまには、がんを防ぐために「タバコをやめましょう」という呼びかけは役場としてもやっていきたい。全職員の喫煙者はだいたい4分の1、BMI25以上の肥満の数も4分の1くらいです。

肥満は破壊

議員

肥満問題はこれまでタバコと同様、自由ということではブルー視されてきたが、現状を思うとき「正面から論じる必要」を感じます。先日でもコンビニの横で若者が座りこんで

議員

1番バッターで質問させてもらいます。今回は10年前から、ブレないでテーマとしてきた「健康づくり」を中心に質問したいと思います。

鈴木 學 議員



・熊野市の「ウエストメジャーリーグ戦」について
・がんと喫煙について
・未来の地域を肥満は破壊
他

ウエストメジャー

リーグ戦

担当課長

「体重とウエストを減ら

し、メタボリックシンドロームの壊滅を目指した支援を行うこと」を目的にしています。

がん と 喫煙

議員

「がんの原因」の3分の1は喫煙といわれていますが、町長さんに喫煙についてどう思われているか。

町長

嗜好の問題もございます。健康状態が強く叫ばれる昨今でございますし、住み分けをしながら迷惑かからないかたちなのなかで楽しんでいくというのも大事ではないかと思っ

ています。

議員

5年前と少しも変わってありませんね。私のほうは十分勉強させてもらい進歩している自負あります。がんになったら「どれだけの負担を社会・周りに与えるか」。医療費削減を含め政治されている方なら認識が必要。がん化を促進する喫煙の習慣。トップたる町長さんから、この際、腹をくくって禁煙してもらいたい。健康づくりのリーダーとして率先して「禁煙を実行」されることを切にお願い申し上げます。答弁はいりません。がんの原因は生活習慣病・ウイルス・その他か。

弁当を食べていました。体重は百四〇五十^キ、容姿がくずれかかった印象を受ける超肥満児をみたとき、「熊野地域の若い者に、未来がない」と感じたわけです。肥満の健康への問題について質問します。

特別参与

肥満になると動脈硬化、糖尿病、がん、変形性関節症、睡眠時無呼吸症候群などにかかりやすいと言われております。

議員

ちよつと見てください。これ何だと思えますか。日本の肥満撲滅の旗振り役のトップ

(肥満学会の会長)で3年間一生懸命努力して、マイナス3^キ、しかし、この体型、西洋医学の限界かな。ついでに、この写真、これは私です。30^キ痩せて今の体型。10年前はこんな感じでした。当時は、肥えていることは貫禄あつていいという社会通念を信じ、むしろ自慢していました。ところが10年前に「肥満が悪い」と気付きダイエットを決心した。「タバコが悪い」という意識がありながら吸うのは情けない。悪いと気付いたときに是非とも舵を切っていただ

きたい。

なぜこの糖尿病が地域に多いのか。特に紀南地方の透析患者の実態。

特別参与

疫学的には海岸部集積性、三重県でも志摩半島から尾鷲・熊野、こころへん糖尿病が多い。漁師町の方々は非常に味が濃く、気短な方が多い。農村部はその反対。そういったことを総合してこの地域が多いということかと思っております。透析の患者さんの実態は請求件数49件ということでございます。

議員

実は私の家内も10年前、重症の糖尿病とわかり「頭が真っ白」言葉で知っているが病気についてはほとんど無知でした。1年ほど調べてみて「食事療法が第一だ」と確信。栄養学の勉強を始め早10年経つ。その際このへんの歴史も含めて調べてみた。すると新宮から木材が明治中期まで東京市場一手に流れていた。が、奥州の木材に押されて台湾に変更し、帰りの船に砂糖を積み、全国でも砂糖の需

要がいち早くポピュラーに使われた。それだけに非常に甘い味付けになったという歴史背景があり、食に対する意識改革が急務と思う。また栄養学での疑問に、これは「今日の治療薬」治療の虎の巻(辞書)です。この中に「SU剤(糖尿病の薬)投与すると食欲亢進のため肥満を助長する」と書いていますね。

特別参与

トランス脂肪酸の問題点は、多量に摂取するとLDLコレステロールを増加させて、また動脈内皮の炎症を誘発して、動脈硬化症の誘因となるという指摘があります。日本におきましては、WHOの勧告基準を下回っており、今のところ規制は設けていません。次にGI値の概念につきましてはGI値が低いからといって、GI値だけで評価をするというのはちよつと問題かなと思っております。

議員

ありがとうございます。大変失礼ですが、ある本を読んでいたときに、アメリカの医学部は授業に30時間の栄養学の勉強が必修で、日本の医学部は必修としてはゼロ時

間だと書いていました。が、先生の母校ではどうでしたかね。

特別参与

私の学校ではですね、議員おっしゃっていただくような、私の立場でいったら町民の健康を守るための栄養学ということ、医者に対するトレーニングっていうのはおっしゃっていただくようにあまり受けた記憶はございません。カリキュラムの中に入っていたという記憶はございません。

議員

昭和40年代までは感染症、外科手術含めての病気が8割占めており、現在においては栄養等の生活習慣が逆に8割方占めているともいわれます。トランス脂肪は3年前にアメリカのニューヨーク市で外食産業はトランス脂肪の供与を一切禁止宣言した。その時に国の指導を受けている自分たちNR(栄養情報担当者)は急遽呼ばれて担当研究員から専門的な講義を受けた。アメリカ等では2006年までに、韓国でさえ2007年に表示の義務化規制が始まっています。が、日本は傍観して

世界から取り残されています。その際、国の研究者の言葉は非常に印象的で「問題を認識しているが、一研究者として莫大な産業投資を考えると政治の問題であつて、これ以上のことは言えません」。私は国で考える問題を地方議会がいうと非常に「眠い話」ですが公の場で議論し、この矛盾・限界を知りそれを逆手にとれば専門家NRとして「最新の栄養情報を知る立場」だけに、なんらかの健康産業も可能性があると信じます。

—— 限界集落の問題

議員

紀宝町にも限界集落といえるところがあるかどうか。

担当課長

浅里地区は人口104人中65歳以上の方が59人でありまして、高齢化率が56%となり、限界集落に該当しております。

議員

浅里地区は出発であつて、この限界集落の流れは紀宝町・熊野全体にも広がってい

くと思う。限界集落の大きな一因は、そこで生計を立てる経済のパイがないということ。浅里だけじゃなくて、将来の紀宝町全体にとの思いをもって取り組んでいただきた



榎本 健治 議員

- ・若者定住対策について
- ・障がい者の授産事業について
- ・自殺対策について

― 若者定住対策

議員

若者定住対策についての取り組みをお伺いします。

担当課長

若者定住対策の一環として企画調整課では紀宝町若者定住促進協議会、仮称であ

りますが立ち上げを予定しております。協議会の入会を前提といたしまして町内の若者、一定年齢までの独身男女の募集を行ってまいりたいと考えております。

議員

具体的な内容は。

担当課長

さまざまな交流イベントを企画や実施をするなかで出合いの場の提供をしていきたいと考えておりまして、今回関連経費として企画費の需用費に50万円の予算も計上させていただきます。

議員

晩婚化が進むなかで出合いの場の提供ということで補正予算を上げていただき大変評価したいと思います。もう一方の若者定住ということでは、町長公約、紀宝町長選挙公報の4番目に町づくりと連動した若者住宅支援制度による宅地造成と書かれています。前回の任期の間は、なかなか年次計画も立てられずに進んできたと思いますので、今年度新たに公約に掲げたなかで、しっかりと年次計画も立てていただきたいと思います。うかがいでしょうか。

町長

住宅地の提供については、若い人たちにこの紀宝町内で住んでいただくということを踏まえれば、当然考えていかなければならない問題だと思っております。2期目の町政推進にあたってあらためてまた約束させていただいているところでございますので、しっかりと適地、候補地を探ってまいりたい。

議員

年次計画を作り目標を定めると事後評価もしやすいと思うが。

担当理事

町が有している空き地や空き家を十分考慮した上で年次計画を前向きに検討させていただきたいと思います。

― 障がい者授産事業

議員

現在の紀宝町の授産事業について町長は十分に行われていると思いますか。

町長

いろいろな事業展開するなかですべて十分というのは、私はなかなか難しいのじゃないかと思っております。

議員

そこで将来を見据えた授産事業について、誰もが安心して暮らせるために障がいをもった方々への取り組み、雇用についてお伺いいたします。

担当課長

障がい者施策でございますが、これまで委託先の社会福祉協議会と一般企業などでの就労が困難な人に働く場を提供すると共に、知識や能力の向上のために必要な訓練を行う就労継続支援B型へ、来年4月1日からの移行に向けて利用者の理解や家族の方の不安が取り除かれるよう、今後協議をして進めていきたいと考えています。施設整備は、福祉センター施設内にあるアプローチの台所および浴室等を障がい者がより使いやすい室内に改修をさせていただき、さらに作業室も増設をさせていただきまして、一部機能訓練的に、利用できるようなものにもさせていただいたところ。雇用対策については、紀南圏域障がい者総合相談支援センターと連携を取りながら就労につなげられるよう対応させていただいております。

議員

23年度という作業形態になつていくのか説明を。

担当課長

今の段階で予定されているのが、水耕栽培で作った野菜の販売など。アプローチ事業についてはこれまで町の委託という形態でございましたが、来年度以降からは、委託というかたちではございません。社会福祉協議会の方で事業主体となってやっていただきます。

議員

しっかりとした就労が確保できるよう、障がいを持つて生まれても同じスタートラインに立て、皆が働けるような体系づくりをお願いしたい。それと、行政の方でも今障がいをもった方々の雇用の義務付けがあると思いますがクリアーされているのか。

担当理事

紀宝町役場を一つの事業所として見た場合の障がい者の方の雇用について法定雇用率は現在国で定められた基準は2・1%。22年度におきましては法定雇用率の達成はできていない状況でございます。

議員

紀宝町は現在達成できていない。そこで町長、現在国のほうで定められている障がい者雇用率の制度は、職員の48人以上の地方公共団体は2・1%ということで定められておりますので、今後、雇用に際して、身体、知的、精神とこの3分野合わせて、率先して雇用状況作っていく必要があると思うが。

町長

障がいをもたれている皆さん方のやはり地域のなかでしっかりと生活ができる、そういった体制づくりというのは大事な問題でございますので、これからその業務、職種を十分勘案するなかで、今後、雇用についても十分検討していく必要があるのではないかと考えております。

議員

22年度以降で障がいをお持ちの方の雇用について積極的に進めていただきたい。例えば、今後、生ごみの堆肥化事業でも雇用は生まれてくるわけです。先日視察に行った豊明市は障がい者団体の方々に委託をされました。是非紀宝町でもご一考を。できる

だけ地元で就労できるように、同じスタートラインに立ってしっかりと働ける場、そしてしっかりと収入を得るような体系、社会の一員であるということと自覚できるように就労体系を今後アプローチの方で作っていただきたい。

自殺対策

議員

自殺者が国内で年間3万人を超える状況ですが、そもそも自殺は防ぐことができる死であり、予防可能な公衆衛生上の問題であるというふうに定義付けられております。東紀州地域、紀宝町での自殺の現状は現在どうなっているのかお伺いいたします。

特別参与

平成13年から17年の保健所別の死亡率の現状は、三重県内で1位が尾鷲保健所管内、2位が熊野保健所管内となっており、東紀州地域が自殺率の高い地域でございます。紀宝町では自殺者が平成19年度には7人、20年度には6人、率にしますと全国平均の約2倍以上の高い率となっておりますが、平成21年は3人と

減少し、死亡率で見ますと人口10万人当り24人となって全国平均となりました。

議員

行政が自殺防止に対してできることとして、民間団体ともっと連携できないか。全国で4カ所しかないNPO自殺防止センターの一つ熊野自殺防止センターが紀南地域にあります。そういった団体や他の民間団体と人材育成を含めた連携がもっとも必要と思います。

特別参与

リーフレットを昨年作らせていただいて御浜町にある民間団体熊野自殺予防センターを町民の皆さまに紹介させていただきました。また2月には熊野自殺予防センターの主催による自殺予防の講演会をまなびの郷で実施していただきました。民間を含めた自殺対策ネットワークとして、紀州地域自殺対策連絡会が昨年設置されました。そういう方々と連携しながらも総合的に自殺の予防をやっているかなければいけないと思っております。いろいろ民間の方々の活動とも連携しながら、一歩一歩取り組んでまいりたいと

思っております。

※この他に、子ども議会について質問がありました。

※榎本議員の一般質問については、本人のホームページに掲載しています。
(<http://www.enomotokenji.com/ipan.htm>)



塩野 真議員

- ・子どもの安全について
- ・児童虐待防止について
- ・学校給食費について
- ・みかんのマルチシートについて
- 他

子どもの安全

議員

昨今、子どもが被害にあう事件が多数発生している。私たち大人はいかにして子ども

たちの安全を守っていくのか。我々大人の責任であり、町の責任である。登下校中、放課後等のパトロール活動の様子、子どもSOSの家の現状をお伺いしたい

教育長

子ども見守り隊は各地区のボランティアで組織されており、交通安全を含めて地区の特色に合わせて常時活動いただいております。子どもSOSの家はもし児童の登下校時に何か起きた場合は、助けを求め駆け込める家として学校から依頼し、その趣旨に賛同いただいて、SOSの看板を掲げていただいております。本年度、登下校安全指導員が緊急雇用創出事業で県教委から1名配置されました。学校、他団体との協力の下、児童生徒の登下校時の安全確保に取り組んでおります。

担当課長

子どもSOSの家は井田で17件、神内で22件、成川で20件、相野谷で23件、鵜殿で21件の計103件になっております。子ども見守り隊は、井田で51人、神内で50人、成川で56人、相野谷で85人、鵜殿37人でございます。

議員

限られた人員で子どもたちの安全を見守っていくには限界がある。住民の方が子どもたちを意識して見ている雰囲気づくりだけでもかなり効果があることだと思う。啓発・意識づけをお願いしたい。

保育サービスについて、学

童保育の月1万5千円の利用料は、安全面と事業の内容を考えれば高額ではないかもしれない。しかし増えている一人親、低収入の世帯にとって1万5千円は厳しい金額ではないか。収入に応じた利用料の設定を考えられないか。

担当課長

減免措置を設けておりまして、生活保護等の方については全額免除、所得に応じて半額免除しております。半額免除以外の細かい設定はしてございません。

議員

安全面を最優先したサービスを維持していただきたいのが本音だが、アンケート等で保護者のニーズがどうか調査だけでもお願いしたい。

担当課長

運営委員会等にもはかり、協議させていただきたいと思

います。

児童虐待防止

議員

様々な制度が整備されたが、虐待の件数は増え続けている。紀宝町の状況はどうか。

担当課長

平成21年度の児童虐待相談の状況ですが、紀州児童相談所管内2市3町で35件。紀宝町では身体的虐待1件、ネグレクト3件の計4件でございます。

議員

虐待を加えた親の罪は、当然許されるものではない。しかし虐待に至るまでに救えなかっただろうか。何が原因と分析されているか。

担当課長

生活上のストレス、病気や精神的に不安定な状態、不安定な夫婦関係、育児不安、社会的孤立、経済的問題などが挙げられます。様々な要因が重なり、複合的に起こるといわれています。虐待する親の大半は、ひとりで苦しみ、悩み続けた結果が子どもへの虐待となって現れてしまうとい

う悲しい現状もございます。虐待している親もまた同様に傷ついていることを念頭に対応するよう、福祉課としても心がけをさせていただいていくところです。

議員

経済的困難、就労の不安定、地域での孤立といった状況を抱えている方は児童虐待に限らず他にもいるはずである。人と人がつながっていない、助け合えるあたたかい社会を構築しなければ、表面的な制度や法律を整備しただけでは根本的な解決にはならない。虐待だけでなく町が抱える大きな社会問題として、継続して取り組んでいかなければならない。

学校給食費

議員

学校給食費の金融機関の引落手数料として、1人当り10円を給食費に加えて引き落とされている。兄弟姉妹のいる世帯では例えば3人分の給食費を引き落とす場合、1世帯の給食費と引き落とすれば10円で済むところを、30円かかっている状態ではないか。

担当課長

町内7校中2校につきまして1人当り各10円を手数料として加算、他の5校については兄弟姉妹をまとめて1件10円で行われております。

議員

2校に関しても他の学校と同じような方式でやっていただけないか。

担当課長

給食費徴収事務の方と事務改善を協議し、考えさせていただきたいと思います。

議員

各校で格差がないようお願いしたい。御浜町は引落手数料を負担しているが、予算的な問題があるが紀宝町ではどうか。

教育長

調べましてご回答させていただきます。

議員

給食費の滞納は、現状でのくらいあるか。

担当課長

現在16世帯で未納が111万3550円です。このうち1年以上の長期滞納が5名で76万6840円、転校された方が2名、2世帯で15万7600円。未納の理由といたし

まして、保護者としての責任感や規範意識の問題、ソーシャルを守ろうとする意識、保護者の経済的な問題などがあるとされます。

議員

経済的な理由で払えない方もいると思うが、優遇策は設けているか。

教育長

町には就学援助費がございます。この場合、給食費を差し引くため援助を受けている方の未納はございません。未納の方は就学援助費に該当しない保護者ということでございます。

議員

支払い能力があるのに、払っていただけない理由は何か、明らかにする必要がある。理解が得られるよう、今一度工夫して取り組んでいただきたい。

マルチシート

議員

御浜町では三重南紀農協に対し、農家の方が購入されたマルチシート費用の2割を町が補助している。これにより、半額でシートを購入でき

る仕組みになっている。広域で三重ブランドを推進していく中で、マルチシートの補助についてどのようにお考えか。

担当課長

三重南紀農協から受益者の負担割合を5割にしたい要望がございます。マルチ栽培の推進には紀宝町だけではなく、三重南紀農協管内全体の問題であると捉えております。熊野農林商工環境事務所、三重南紀農協、3市町等で構成しております三重南紀元気なみかんの里創生プロジェクト協議会で議題に上げ、検討していただく方向で調整をしたいと思っております。

災害時の要援護者

議員

災害時の要援護者リストは、どのように活用されているのか。データを活用して災害時の救助に役立てるよう、マップ作りをしてはどうか。

担当理事

平成22年4月1日現在、災害時要援護者リストに480名の方が登録をされております。今後、訓練等に活用して

まいりたいと考えております。要援護者マップ等の作成ですが、消防機関、自主防災組織、自治会等で人命救助に非常にいい施策であるということで要援護者マップを作成していただいている自主防災組織もございます。先日、立ち上げました紀宝町自主防災組織連絡協議会におきましてもマップ整備を進めていき、整備できればデータ管理等も進めたいと考えております。

※この他に、連休中の道の駅の様子について質問がありました。



市川 潔 議員

・地域構造の形成方針について

・高速道路、バイパス開通に伴う町のビジョンについて

地域構造の形成方針

議員

総合計画の中の紀宝町の一体的な発展に向けて、それぞれの地域の特性を生かし、役割分担しながら連携しあう地域づくりを進めるために4つのゾーンを設定しているが、その概略をまずお答え願います。

担当課長

まちの一体的な発展に向け、市街地にぎわいゾーン、農住いきいきゾーン、森林やすらぎゾーン、里山ふれあいゾーンの4つのゾーンを設定しております。まず国道42号線沿いに井田・鶴殿・成川地区が含まれます市街地にぎわいゾーンでは、人が集まりにぎわいを生み出す地域として、都市環境の整備を進めると共に、密集市街地の防災対策を進め、安全なまちづくりを実施し、情報機能を強化し、町内外への情報発信の拠点づくりを行っております。次に神内から県道鶴殿熊野線沿い、鮎田から県道紀宝川瀬線沿いに平尾井、桐原方面までを含む農住いきいきゾーン

では、農業の振興を図ると共に、農住環境づくりを実施しております。そして県道小船紀宝線沿いに浅里方面へと里山ふれあいゾーンでは、地域をはじめ都市とのふれあい・交流・癒しの環境づくりを実践しております。それ以外の森林地帯を含む森林やすらぎゾーンでは、公益的機能の保全や治山対策を図ると共に、豊かな自然環境を活用したやすらぎの空間づくりを実施しております。

議員

市街地にぎわいゾーンの防災対策についてお答え願います。

担当理事

町全体として、自主防災組織の設立・育成に取り組んでおり、各地域に応じた防災対策として、災害時に必要な資機材の整備、護岸整備や土砂災害の対策も進めております。

議員

護岸対策をしていただいているということですが、平島地区のふれあい会館裏の堤防側面にクラックが入って心配なので、担当の方へ聞いてほしいと要望を受けております

のでその辺りをお訊ねします。

担当課長

心配していただいております堤防は、県の台帳にも記載されていないような古い施設であると同っております。現在県におきまして、港湾施設の維持管理計画を作成し、特に鶴殿地区の海岸と堤防につきましては大きな劣化、損傷表示、性能が満足されなくなる前に対策を実施すると聞いております。今後とも定期的に点検を行っていただき、適切な維持管理を行っていくと

教育民生常任委員会



いうことですので、ご理解のほどよろしく願います。

議員

担当課長が県の方へも要望いただいているという堤防のクラックの問題等に関しまして、町長お願いします。

町長

県の方においても大変財政厳しい状況ではございますけれども、早急に補強、強化を実施していただくように今後とも粘り強く要望を続けてまいります。

議員

里山ふれあいゾーンの浅里地区ですが、ちよつと確認させていただきます。にほんの里100選に選ばれて、どのようなことがあったか教えていただければ。

担当課長

浅里地区がにほんの里100選に選ばれ、それを記念して和田湾のところに、お出迎えの看板の整備をさせていただきました。素晴らしい石垣等が認められたということで、それらを今後も継続して維持管理していくための事業の検討などを進めたいと考えております。

議員

町長の思いをお訊ねします。

町長

それぞれの地域に根付いた歴史文化、培ってきた人間関係を地域の中で活かしている、個性あふれる生き生きとしたまちづくりを進めたいと思います。

道路開通に伴う

町のビジョン

議員

バイパス開通に伴い、鶴殿は交通量が激変するが、商店街等の対策はどうか。

担当課長

交通量の減少をデメリットとするのではなく、渋滞のないご利用しやすい地域であることをPRし、集客力を高める施策を商工業者の方と検討したい。

議員

バイパス前の鶴殿地区へ入るあたりに看板等の必要性についてはどうですか。

担当課長

紀宝市街地と新宮方面の分かれ方の案内看板、案内標識の設置の要望は考えております。商店街の看板は沿線の事

業者と協議したい。

議員

熊野まで高速が通行可能になったとき、紀宝町への集客の対策は。

担当課長

紀宝町PRビデオの制作やフォトコンテストを開催し、PRポスターの制作など、情報発信の強化で集客につなげたいと考えています。

議員

町長の思いは。

町長

おかげさまで当町につきましてはウミガメブランドがしっかりと定着し、紀宝町をPRする大きな効果が出ていると思っております。これから地域全体で各団体が連携しながら、行政としてお手伝いさせていただいて、それぞれの役割分担をしながら、紀宝町全体の活性化に向けて取り組みを進めたい。

議員

紀宝町としてのビジョンは。

担当課長

6月1日から販売を開始しました紀の宝ブランド品、また産官学連携事業である紀の宝ネットショップなどを通

じ、地域産業の強化を進めたいと考えております。

町長

行政的にできる部分についてののは限られた部分もありますが、地域の方々と一緒になって進めていく、そのためには行政としてもしっかりと支援をさせていただく体制づくりを作っていきたい。

議員

2・3年後の高速道路、バイパス開通という目標に向かって、しっかりとしたビジョンのもと、道の開かれた紀宝町となることを希望します。



西村 喜久男 議員

効果的な獣害対策について

- ・獣害に強い営農について
- ・旧伊勢電子工場の管理について

他

獣害対策

議員

年々増加している鳥獣害の被害は何が原因と思われますか。

担当課長

様々な理由が考えられますが、原因の一つとして、有害鳥獣の隠れ家となる遊休農地が増えたことにより、人間と有害鳥獣との距離が近くなり、人馴れしやすくなっていることが考えられます。また、エサとなる放任果樹などが増え、人里をエサ場として認識しやすくなっていることも大きな原因の一つではないかと思えます。

議員

先日、津市で開催された自治創造塾研修会で鳥獣害対策についての研修会があり、その中で講師の井上雅央先生が話されておりましたが、実際に鳥獣害対策を実施している地域、約700の集落を回って見られて、成功している地域の対策の取り組みは、餌付けをしてしまっていることが原因と、絞り込んで対策を実施していくことだと言ってお

られました。紀宝町の鳥獣害対策の取り組みで、効果のあった対策の把握と、問題発生時の対応についてはどのようになっていますか。

担当課長

農業者や猟友会の代表、行政で構成する紀宝町鳥獣害防止総合対策協議会が主体になり、農業者に対する講習会や追い払い体制の構築、鳥獣被害マップの作成などソフト面の取り組み、電気柵等のハード面の整備を平行して行っております。

担当理事

サルやハリスミカンに被害がありました。昼間なので追い払いを強力的にやれば効果が出ると思いますので、指導も含めお願いしているところ です。

議員

餌付けをしないためにも、追い払いが基本になると思います。モンキードッグの取り組みについて、鈴鹿市の西庄内町で実施されている、訓練士派遣方式の訓練では、モンキードッグの養成を従来の一頭分の費用で数匹の訓練ができるそうです。この訓練方式

の取り組みについて、検討されたことありませんか。

担当理事

那智勝浦の色川の地域にも視察にも行き、訓練士さんを紹介いただきましたが、地域がきちつとまとまり、受け入れ態勢ができてから取り組んでいきたいと考えております。

― 獣害に強い営農

議員

鳥獣害対策と農業振興策と合わせて取り組んでいく必要があると考えます。果樹の柿や、みかんを作業者の体型に合わせて、腰の高さまで剪定し、コンパクトにすることでネット対策も容易で安くでき、高齢者の方でも収穫できます。この取り組みについていかがでしょうか。

担当課長

従来の果実より樹高が低い超低樹高による営農方法が開発され、農業者の負担軽減と、獣害対策にも効果が期待されていると聞いております。今後J Aや農業改良普及センターとも連携し検討してまいりたいと思います。

議員

鳥獣害対策に詳しい井上雅央先生を招き地域で研修会をしていただく取り組みが必要だと思いますが、いかがですか。

担当課長

是非機会があれば、紀宝町にも足を運んでいただき、ご指導いただければと考えております。

― 旧伊勢電子工場

議員

現在、閉鎖されてかなりの年数が過ぎており老朽化も進み、災害の発生が心配されます。会社側への管理の徹底を依頼されておりますでしょうか。

担当課長

旧伊勢電子工場につきましては昭和46年紀宝電子として設立され、平成14年3月末撤退まで31年間操業をいたしております。閉鎖後もノリタケ伊勢電子が維持管理を行っております。

担当課長

今回の件につきましては、会社の方へ連絡させていただき、会社より連絡があり、6

月下旬以降に建物を解体し、そのときに除草も合わせて行う旨の連絡を受けております。

議員

大里の中で津本地区が一番人口も多く、住宅も増えてきたと思います。この津本地区の集会所の要望も含め、工場跡地の有効利用について、どのようにお考えですか。

町長

県の方でも工場用地の売買物件として登録している状況ですので、有効利用等についてはまったく白紙の状態でございます。集会所等の問題については、充分地元住民の意向等も踏まえ、今後検討していく必要があると思っております。

― 子育て世帯への支給

議員

保育料や給食費の滞納者に支払いを催促する自治体もあるようです。滞納者の家庭を直接訪ねて支払いを求める必要があると思います。どのようにお考えですか。

担当課長

保育料未納者の状況です

が、25件あり中身については、生活困窮の方が10件、ポ1ナス等が出たときに、まとめてお支払い予定の方2件、特に理由なしが13件でございます。10月に第2回目の支給がございます。このときには未納者全員に子ども手当の趣旨を申し上げながら、個別に納付誓約を行い、収納に結びつくように努め、滞納の解消に努力してまいりたいと思います。

担当課長

給食費の滞納者は16世帯11万3550円になっております。7月に給食センター運営委員会が予定されおり、この場で委員のご意見も伺いながら、給食費滞納者に対し、納付の理解と協力が得られましよう、周知を図っております。



尾畑 啓嗣 議員

- ・税と料金の収納状況について
- ・紀南中核的交流施設整備事業について
- ・宝寿園について 他

— 収納状況 —

議員

今、全国の自治体の財政難の中、収納率を上げるために条例でペナルティをかける自治体があちらこちらで起こっております。未納所帯の子どもの奨学金を取り上げるといような条例が提案された議会もあります。この紀宝町そのようなことがないようにと願って質問を取り上げました。収納状況については各課から提出していただきまして。まず最初に総論として町長にお伺いいたします。21年

度の見込みも含めて紀宝町の未収額はどれくらいあると思いますか。なぜ町長に聞か、町長は全体のことを見るという立場、未収金をみるという観点が必要です。私の方から説明いたします。町税現年分4800万円、不納欠損額2500万円、滞納繰越分の未済額1億2千万円、紀南病院未納1127万6千円、水道料343万3千円、保育所は92万9千円、給食費121万5千円、町有地使用料14万4千円あり、合計で2億1千万円の未収があると私は考えます。この考えに間違いありませんか。

担当理事

数字の細かい精査はできておりませんが、その考えでよろしいかと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

議員

56億の予算としますと4%が未納です。収納率をどう上げるかが大事です。やってないと言っているのではありません。各課は家庭まで訪問して頑張っていることは重々承知しています。生活が苦しい中で、本当に払えないのかどうか。21年度の滞納繰越分の

未納件数は、町民税は701件、法人税6件、固定資産税は820件、軽自動車税は613件、国民健康保険税は731件あります。4税の重複未納者を税務住民課は調査していますか。悪徳とみるのか、お金があっても払わないとみるのか、4税がどのように移していますか質問いたします。

担当課長

この精査、調査は行っておりません。一般的に重複滞納者は多いというのが実情であるというふうに思います。

議員

4税だけではないんです。料金も含めてあなた方の行政は縦割りで自分ところの区域しか見ない。苦しいのか、苦しくないのかということを見るならば、介護保険料も保育料も含めて横でつながって、この家は苦しくて払えない、そこまで精査する必要があるのではないかと思います。今、4税ですら重複が分らない。これでは行政として家へ行って、納税の義務の話をし、町の財政の話をし、説得の能力に私はいささか疑問を感じる。18年から21年度見込

みで6656万7千円の未納欠損（請求を放棄した金額）があります、主な原因はなんですか。

担当課長

行方不明者、納税通知書を発送しても戻ってくる、生活苦で払えない方が主です。

議員

町税4税の督促状は何通発送し、連絡はどれだけ取れましたか。

担当課長

調べて後で回答します。

20年度の督促状は、町県民税で1110件、固定資産税で1663件、国保税で3944件、軽自動車税が807件で合計7524件を発送しております。

議員

4税の内国民健康保険税の収納率が一番悪い、93・53%、この原因は、国の補助率が50%から33%に減らされたこと、これを元に戻す運動と均等割と平等割を下げることにだと思う。保育料については現年度と滞納繰越分で300万円あります。100%になるよう努力してください。介護保険料の18年から21年までの紀宝町の未納欠損額は44

6万9千円あります。紀南広域連合の不納欠損額は1770万円、その内熊野市が1038万円、御浜町が286万円です。税の公平性と言うなら、各市町が立て替えるべきです。町長、広域連合で提案してください。

町長

おっしゃることもよく理解できるんですけども、運営については全体の中で考えていく問題ではないかと思っております。

（水道料、学校給食費、町有地、住宅等も質問）

議員

税金の収納の質問が終わるに当たり、行政全体の中で掌握して、生活保護の申請なり、国民として生きていく最低のことは、町がきちんと指導していく暖かい安心、安全な紀宝町を目指していただきたい。

— 紀南中核的交流施設 —

議員

県が30億、市町が5億9千万円負担、紀宝町は10年間で2523万円を支出するM&A（熊野市金山）の運営状況

はどのようなになっていますか。

担当課長

昨年の7月17日にオープンし、21年度の実績は、物産施設1万4467人の利用、売上げ2690万4千円、温浴施設2万3035人、売上げ1645万5千円、日帰りレストラン1万5277人、売上げ2845万9千円、宿泊者数7995人、売上げ7525万6千円、客室の稼働率34・9%。紀宝町への波及効果は、社員5名、パート6名の雇用と、熊野倶楽部から熊野体感塾への予約が約90名ありました。

— 宝 寿 園

議員

前議会で取り上げた、宝寿園の各種保険制度は改善されましたか。井田地域に予定の特別養護老人ホームの財源内訳はいくらか。宝寿園から川舟や熊野川が見える景観づくりを。

担当課長

臨時的に採用された職員全員に健康保険及び厚生年金、雇用保険、労災保険の加入を

行っております。特養ホームの総事業費は4億9662万円です。組合債は2億6300万円、町の補助金1億1020万円、宝寿園の基金積立により1億2342万円と聞いております。

町長

今ご指摘いただいたように、年間生活をされる環境というのは大事だと思います。今後十分検討してまいりたいと思います。

— 町道の維持管理

議員

2カ月前に紀南新聞に相野口永田線のデコボコ安全性に問題ありの記事が載り、産業建設課にも対応要請したが、一般質問通告後に改修された。堤谷から鶴殿小学校までの町道も水道管の掘り起こしでデコボコである、改修を進めてください。

— 廃棄物監視員 制度の創設

議員

京都大学の先生の講演の中で、紀伊半島は廃棄物をほる

のに一番都合のいいところだ。君たちはしっかり監視しないと、産廃の山になる恐れがある。山から海まで直通だからだ。農業委員会に埋立申請が出ています。鮎田区の山の上に土をほらしてほしいと要請が出ています。町有林や山の中に家庭ごみがあちらこちらに投棄されています。車に監視パトロール車のワッペンを貼っていただければ注意するときに役立ちます。山林労働者、狩猟家や農業委員の皆さんに協力いただいて監視制度の創設を提案しておきます。

町長

議員ご指摘の部分について、今後の安全安心、また環境を守っていくという意味でも非常に大きな課題だろうと思われまふ。今後ご指導いただく中で十分検討してまいりたいと思います。

平成22年第2回定例会





北山 千恵 議員

・口蹄疫について ・子宮頸がん予防について

一口蹄疫

議員

宮崎県で拡大、蔓延している口蹄疫は県や国の対応にも問題があったとの報道もあり、現在18万頭の牛や豚が殺処分されたそうです。これを受けて和歌山県では、口蹄疫予防のために偶蹄類飼育農家を対象に消石灰や消毒液の無料配布を決め、対応マニュアルを作ったと発表されました。三重県の対応はどうなっていますか。

担当理事

県では消毒薬の消石灰を無

償配布する交付金支給を明らかにしており、本町では一農家に70袋くらいを想定しています。

議員

町内での偶蹄類飼育農家は何軒あるのですか。

担当理事

牛の場合は2軒で、他にイノシシを飼育している所もあります。

議員

桐原で豚を飼っていると聞きましたが、飼育されていないのですか。

担当理事

家畜保健所の情報では豚はありません。イノシシを飼っている所は6カ所くらいあります。

議員

牛の場合は、狂牛病の関係でトレサビリティがしっかりとされており、牛の履歴が直に判る仕組みになっています。本町の牛で九州から導入された牛はありますか。あれば口蹄疫の検査は済んでいますか。

担当理事

県に確認したところ、該当する牛はいますが潜伏期間を経過しても異常が無いとのこ

とです。

議員

熊野南郡で飼育されている牛の頭数は大変多く、県下の施設も有しており、今や一次産業としては一大産業となっています。本町ではウィルスで感染すると言われている口蹄疫対策をどのように考えておられるのですか。一頭でも感染してしまったらその牧場を中心に半径10^キの移動制限区域が設けられ、殺処分命令が出されたなら死体を埋めなければならず、愛情を持って飼育してきた農家にすべてやれというのは大変酷なことです。あつてはならぬことですが、もしもの時には具体的に誰が殺処分命令を出し、誰が殺し、誰がどこに埋めるのですか。

担当理事

家畜伝染予防法では所有者が殺処分し、埋却するとなっていますが、現実的には難しいので、埋却地については県と町が協力して確保し、殺処分と埋却は県がやり、費用は国と県で負担をし、そのような事態になった時は、他府県や政府からも作業のための人員派遣があると考えていま

す。

議員

野生の偶蹄類が感染した場合、拡大感染を防ぐための手立てはあるのですか。

担当理事

有効な手段はないが、野生の場合は生存密度が低いので広域に感染が拡大する可能性は低いと思います。

議員

埋却することでウィルスは死ぬのですか。また井田の場合だと10^キ以内で何百頭も埋却する土地があるのですか。地下水への影響はどうなりますか。

担当理事

ウィルスは感染した動物の生きた細胞の中で増殖するので、殺処分し合わせて飼料や堆肥なども埋却、消毒することとで拡散は防げると思っています。埋設する場所については充分協議し、公有地を含めて選定協議しなければと思っています。

町長

畜産業に対する打撃は非常に大きいと思っています。県内でも当町でも影響の出ないような形を取って行く必要があります。しっかりとした取り組みを進めていかなければと思

みを進めていかなければと思っています。

議員

町内で発生する事態になれば農家のダメージはもちろんのこと、住民にもいろいろ大変なことが起こってくると思いますので、町としても充分予防に力を入れていただくことを要望します。

産業建設常任委員会



子宮頸がん予防

議員

予防できる唯一のがんとされている子宮頸がんのワクチン接種公費助成の実現に向け、政府も夏の概算要求への盛り込みを検討するというような情報もあり、ワクチンを接種することで70%予防できるという報道もありました。20歳代から40歳代の女性の発症率が高いそうで、この年代は子どもを産み育てる年代と重なっています。ワクチン接種で予防できるものなら是非にと考えますが、参与のお考えは。

特別参与

予防には1次、2次、3次予防があり、1次はがんにならないための予防、2次は早期発見、早期治療、3次は再発予防とリハビリあるいは苦痛の軽減等です。予防接種も1次予防で、ワクチン接種はパピローマウイルスの感染を防ぎ子宮頸がんを予防する一つの方法です。本町の場合、子宮頸がんで亡くなられている方は、昨年はお一人でした。ワクチンの効果について

はまだよく判っていません。

議員

東京都に続き山梨県でも助成制度を決め、全国で42自治体が検討しているとの報道もあります。参与自身は期待できないとお考えですか。

特別参与

データが少ないので分かりませんが、ワクチンの助成については資料を集めて現在検討しているところです。

議員

いろいろと検討される中、ワクチン接種による副作用もなく予防効果が期待できる場合は、小学5～6年生の低学年から公費でワクチン接種ができるよう助成制度を作っていただくことを要望します。



平野 美津子 議員

- ・0歳児保育について
- ・学童保育料の引き下げについて
- ・人権を守る明るい町づくりについて 他

0歳児保育

議員

教育民生常任委員会での0歳児保育についての前向きな町長の発言がありましたがいっから実施しますか。

担当課長

今後、建て替えをする飯盛・井田保育所は、0歳児保育室の確保等はしておりますが、町としても、子どもたちが健やかに育つ一番大切な時期を、親子が一緒に過ごしていただくことが本来ではないかと考えています。

議員

この地域では育児休業を取れない職場が多いため産休明けから働かなければならない方がおられます。0歳児保育室が準備されてもすぐに0歳児を受け入れることができないのですか。

担当課長

26年度までの5年間の計画期間のなかで目標として掲げています。今後十分協議検討したい。

議員

設備が整えば保育所を希望する方の相談に乗ってもらえないのか。

町長

基本的には生後1年間は特に母親の元で生活するというのが一番いいかたちではないかと思っておりますし、そのことが幼児期の成長過程においても一番大事な時期ではないかと思えます。0歳児については町として今のところ取り扱ってはございませんが、0歳児保育をやっていたらいいところをお願いをし、広域の中で対応させていただきます。

議員

紀宝町の保育所で受け入れる態勢が必要ではないか。紀

宝町としては住民の要望を解決できる状態ではないと思います。

町長

今のところ0歳児保育は、計画しておりません。必要の方は例外的に町として広域的な中で他の自治体や保育所の力をお借りして取り組みをしています。特別に0歳児については対応しています。

議員

0歳児も措置児童に該当しますよね。

担当課長

該当します。



災害・環境保全対策特別委員会

議員

該当するということですから特別ではないですよ。紀宝町民の思いは紀宝町で受け止めるべきです。

町長

ご意見は十分うけたまわっております。

議員

設備ができれば引き続き議会で質問させていただきます。

学童保育料の引き下げ

議員

町長も先ほど0歳児は母親が育てるのがベストだとおっしゃいました。学童にとりましても、両親が働いている家庭では、学童保育は安心安全につながります。多くの児童が学童保育を受けられる状況にし、子どもの安心安全な状況をつくることは、行政の仕事ではないか。同僚議員の質問にありました。その議員の子どもは、学童保育を受け、いろんなところへ連れて行ってもらったり、宿題と一緒にやってもらったり規則正しい生活が保証されている。このような観点から見まして

も、他の行政の費用を減額してでも学童保育に予算を回していただきたいと思います。

町長

今後とも学童保育運営委員会等を踏まえて、費用等も含めてバランスよく皆さんとともに考えていきたいと思います。

議員

行政が安心できる福祉行政をやっていただけることは、力強いことです。今後引き続き検討していただきますようお願いいたします。

人権を守る 明るい町づくり

議員

合併後支給された高齢者祝い金ですが、公共料金の差を3年間で解消するのとは、意味が違います。祝い金（18年支給分）を公平に支給するために共産党議員が予算の修正案を出しましたが、共産党の議員以外は反対して否決されました。地域によってお祝いに差をつけ、地域を不公平に扱ったという間違いはきちんと反省し正さなければ消えません。

町長

高齢者祝い金の件は議会の中でお詫びを申し上げ取り組みを進めてきました。これは確かにご指摘のような部分があるんですけれど平野議員のようにいつまでもこの問題を取り上げておれば、いつまでも解決されていく話ではございません。

議員

町民の皆さんにお詫びをしておつしやいますけれども、お詫びをして反省するならその時点できちんとその差額の3千円を支給することによってスタートに戻るのではないのでしょうか。

町長

最初の年の3千円を返せということです。

議員

そうです。

町長

差額を支給しなさいということですか。ああそうですか。なるほどいい発想ですね。はい、十分検討させていただきます。

議員

今の発言では、きちんと反省されていないと私は受け止めます。人権問題は、ごめん

なさいで通るのですか。私はそうじゃないと思います。認識すればその差を解消するべきです。

公共事業の入札

議員

地元業者優先するためには、どのような方法があるのか。

担当理事

原則的に入札は、公平公正に実施するのが基本ではないかと事務局は認識しております。

議員

宝寿園小規模特別養護老人ホーム建設工事設計業務プロポーザル募集要項についてお聞きします。この要項の第一次審査と第二次審査の方法と内容についてお教えいただきたい。

町長

私は管理者で大変申し訳ありませんが存じ上げておりませんので、宝寿園の方でお聞きいただければと思います。

議員

評価基準を見ますと、地元の小さな設計事務所は、応募できないような状況になって

熊野川流域対策特別委員会現地視察



いると思います。宝寿園の園長に聞きますと地元3業者は入札を辞退したということですから。二次審査は事務所の意欲で審査されますが、一次審査で入れなくなると思います。

※この他に、次世代育成支援行動計画、輸出に係るタイ国の市場調査、議会中継のインターネット配信、高学年の外国語活動について質問がありました。



議会運営委員会



議会中継調査特別委員会



熊野川流域対策特別委員会



全員協議会



平成22年第2回定例会

◎次回定例会の予定

9月28日（火）開会予定です。
傍聴は議会事務局で受付ています。

◎議会中継の開始について

議会の広報機能を充実し、より開かれた議会を目指して9月定例会より、公共施設5カ所のロビー等において、町議会本会議の模様を生中継で放映する予定です。

放映予定公共施設

- ① 役場本庁舎
- ② 生涯学習センターまなびの郷
- ③ 福祉センター（鶴殿）
- ④ 保健センター（神内）
- ⑤ 相野谷診療所

※現在、議場中継システムを構築中ですが、工事状況により9月定例会から放映できない場合もありますので、ご了承ください

可決された議案

●専決処分の承認

・紀宝町税条例の一部改正

・紀宝町国民健康保険税条例の一部改正

●紀宝町職員団体のための行為の制限の特例に関する条例の一部改正

・職員の時間外勤務代休時間の設置に関連し、条例の整備を行うものです。

●紀宝町職員の育児休業等に関する条例の一部改正

・本年6月30日から「育児休業法、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律、及び地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正」が施行されることに伴い、条例の整備を行うものです。

●紀宝町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正

・本年6月30日から「育児休業法、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律、及び地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正」が施行されることに伴い、条例の整備を行うものです。

●平成22年度一般会計補正予算（第1号）

●平成22年度国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

●平成22年度水道事業特別会計補正予算（第1号）

●紀宝町消防団員等公務災害補償条例の一部改正

・本年8月1日から「児童扶養手当法の一部を改正する法律」が施行されることに伴い、条例の整備を行うものです。

編集後記

夏本番の抜けるような青空、「暑い、暑い」の連呼で、年々体力の衰えを感じます。世の中は参議院の選挙が終わり一段落、といきたいところですが、消費税論争や、沖縄の基地問題、衆参ねじれ国会など課題が山積しております。

某テレビ局で「龍馬伝」が放映されております。若き志士たちが土佐の山奥を飛び出し、この国の行く末を案じ、奔走し戦いました。彼らが流した無念の涙や血は、大政奉還を経て明治維新へとつながっていききました。なぜ今「龍馬伝」なのか、そのメッセージを私たちは受け止めなければなりません。日本という国を真剣に考える若者たちが立場や思想を超えて手を取り合えること。同志として国や外国へ訴えかけていくこと。これからの日本を背負っていく若者たちへの熱いメッセージではないでしょうか。私は希望をこめて、そう受け取りたいと思います。（文責 塩野）
「議会だより」（第17号）

編集委員

平野美津子

塩野

登立 元吉